

STARTERS

Vol.16

2009年春号

行政合同研修会

「さいたま市との合同研修会の開催」

開催日 平成21年3月19日(木) 午後1時30分～5時00分
開催場所 与野コミュニティセンター 多目的ホール

さいたま市との合同研修会は二部構成となり盛り沢山で開催されました。

第一部では、「第四期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について」実際に計画の策定に携わっているさいたま市保健福祉局福祉部高齢福祉課課長補佐米谷晃氏に、また「介護保険料の試算と算出の方法について」は、さいたま市保健福祉局福祉部介護保険課課長補佐佐藤崇之氏のお二方をお迎えし、講演して頂きました。

米谷氏からの講演は、第四期計画の位置づけや健康・福祉の理想都市への構築と第二期計画からの基本理念、基本方針、4つの基本目標を原則維持し、第4期計画で特に新規または大幅な見直しを行うべき課題を3つの重点プログラムとして設定したとの事です。

重点プログラム1「支え合いの地域社会

に向けた仕組みづくり(インフォーマル事業の推進)」、重点プログラム2「地域社会活動への支援と情報提供(シニア世代のボランティア活動

等)」重点プログラム3「認知症高齢者等への総合的な支援(認知症サポーター養成講座の活性化、医療と介護の連携・各區ごとに物忘れ相談医の選定等)」

今回の計画の重点プログラムは高齢福祉に携わっている私たちにとって、重要で有意義なプログラムとなっています。計画の策定にあたっては、まちづくりの主役である市民の視点を基本に策定し、また、当協会も委員として参加し、意見交換を行いながら策定しました。

今後も関連する様々な会議等で市民の意見を反映しながら計画の進行管理をして行く予定です。私たちが高齢福祉に携わっている一人として、行政・地域と連携を取り、一人一人が声を出し、大きな声となり、力となって、より良いまちづくりに参加していきましょう。

第二部では、「クレーム対応について」アイベック・ビジネス研究所の杉山真知子先生を講師に迎え、クレームとは、「権利を主張する」という大切な意味があり、「苦情」と捉えるのではなく「アドバイス」とプラスに受け止め、対応するとよいということ、クレーム対応の仕方、ヒヤリングの技法・共感の仕方等を学びました。

杉山先生の講義はとても素晴らしかったです。また先生の声は鈴が鳴るように耳に心地よく響きました。

行政合同研修会、大変ありがとうございました。



第3回全体研修

開催日 平成21年3月14日(土)

開催場所 埼玉会館

内容 第1部 【講義】「命の大切さを考える～消防局、救急救命士の活動とは」

講師 さいたま市消防局 関根 正明氏

第2部 【シンポジウム】「命の大切さを考える～高齢者ケアネットワーク」

コーディネーター 特別養護老人ホーム尚和園 野崎 直良氏

シンポジスト さいたま市消防局 土屋 桂子氏

さいたま市大宮訪問介護サービスセンター 西間木幹子氏

れんけい訪問看護ステーション 中島 悦子氏

いきいきらいふ支援センター 門間 鈴子氏

地域包括支援センター敬寿園 西村 百恵氏

さいたま市高齢福祉課 米谷 晃氏

みたにクリニック 三谷 雅人氏



第3回全体研修は「命の大切さを考える」をテーマに、2部構成で行なわれました。第1部では、救急活動の現状や出動事例、様々な救急活動の統計資料等が紹介されました。講義は必然的に高齢傷病者に対する救急出動の話に進み、今後更に増加が予測される単身高齢者・高齢者世帯・高齢者施設等での出動時における問題点、現場隊員の悩み、課題が示されました。高齢者救急の現場で一刻を争う中、救急救命士等が適切に対処するために必要な傷病者の情報、主訴・経過・既往歴・連絡先等が、なかなか把握できないという現状。認知症の有無や普段のADLが分からない中での活動を余儀なくされている現状。そして搬送先病院は

当然それら情報を隊員に求めるという現状。解決のために普段から関与している職種の人達と連携し、大切な命を救いたいという心に響く講義でありました。休憩を挟み第2部に入り、さいたま市桜消防署管内での高齢者救急現場における情報収集困難事例が紹介され、その後シンポジウムで具体的な対策や、高齢者ケアネットワークの構築について話し合われました。各シンポジストの意見は紹介しきれませんが、先自行自治体の取り組み事例や情報カード・現況イート等の提案、サービス提供事業所・民生委員・ケアマネ・かかりつけ医の連携、要介護認定者以外の高齢者も含めなければ等、ネットワー



ク構築への有意義な意見を聞く事が出来ました。そして個人情報保護法が施行されている今、必要なツールを作り、有効なネットワークを構築するためには、関係各機関・職種の連携に加え、特に行政の積極的な関与が不可欠であるとの結論がありました。ところで、火事でもないのに消防車と救急車が一緒に出動することがありますが、理由知ってました？

第1回緑区ケアマネサロン

開催日 平成20年11月29日(土)
開催場所 聖蹟プライムコート東大宮

冬とはいえ、柔らかな陽ざしの午後、住宅型有料老人ホーム『聖蹟プライムコート東大宮』の見学に行ってきました。

外観は思いのほか質素?いえいえ、普通のビルなどの入口のようなのですが、一步中に入るとまるでホテルと見間違えほどの豪華なロビーにフロント。ちょうど外出から帰られたゲスト(私たちで言うところの利用者)様を職員さんが「お帰りなさいませ」と温かくお出迎え。エレベーターの扉のロックを解除して頂き皆さんは各お部屋へ。まさに、セキュリティは万全なところを実際に見させて頂きました。

さて、豪華なロビーに気押されながらも、各居室へ。ドキドキしながら案内の方の後ろをゾロゾロとついて行きます。廊下には絨織…すでに格が違います。1番小さな部屋、という事で1Kの部屋。それでも、約39㎡あり1人で暮らすには十分。続いて約80㎡の部屋。戸棚などの収納スペースはバッチリ。部屋のフロアは転倒に備えてクッションシートになっていきます。すでに参加者の頭の中には?有料老人ホーム??と?マークがたくさん飛び交っていました。そう、ここで施設の頭についていた言葉にふと気が付くのです。有料老人ホームでも、ここは住宅型有料老人ホーム。この住宅型という言葉が、通常聞いている有料老人ホームの概念を変えてしまうものなの

でした。通常イメージする有料老人ホームは終身利用権を購入する、というものですが、住宅型となると元気で過ごせるうちは手厚いサービスのついたホテルの1室を購入し生活する…というようなイメージなのです。見学後、優雅に食堂の一角でお茶を頂きながら丁寧に分かりやすく、住宅型という事について説明頂きました。そんな中で、アメリカのシバルータウンの話しまで飛び出し、ちょっと白熱した話し合いの場となったのです。

お値段的には高嶺の花ではありますが、このようなコンセプトの生活の場が選択肢としてあるのだという事を知れた事は良い勉強になったのではないかと思われました。



第2回緑区ケアマネサロン

開催日 平成21年 3月7日(土) 14:00~15:30
開催場所 グリーンヒルうらわ 相談室

今回の緑区サロンは、日頃のコリをほぐす技?を習得すべく「マッサージの意義とセルフマッサージ」について、寝たきりにならない体づくりをテーマに、中央在宅マッサージ院長 西川輝彦氏を講師に招き他3名のスタッフによる施術付き?講習会を行いました。

在宅マッサージを利用する患者の傾向として、リハビリの継続・筋力維持の施術がメインになっていると話す西川氏。介護認定を受けている患者では要介護3~5が多く820名中3割が寝たきり状態とのこと。脳卒中や転倒による骨折後の安静臥床による筋力低下が原因という。

寝たきりにならない体づくりには筋肉が大きな役割を果たし、体温調整・血液循環・骨変形防止・脂肪燃焼が代表的。血液循環では特に心臓から一番遠く、長い足の先の血液を戻す筋肉「ふくらはぎ」が第2の心臓と呼ぶほど重要。講義中に施術師の方が参加者1人1人に手技を指導してくださり、足先から



浦和区・南区合同ケアマネサロン

「介護給付適正化計画とケアプランの点検支援マニュアルについて」

開催日 平成21年3月11日（水）
開催場所 浦和コミュニティセンター（浦和パルコ10階13会議室）

今回、明治安田システムテクノロジ（株）ウエルネスケア・ビジネスアカデミー秋林氏を講師にお迎えし、「介護給付適正化計画とケアプランの点検支援マニュアルについて」をテーマにお話頂きました。秋林氏は、介護報酬改訂の厚労省検討会「介護給付分科会」に参加されており、平成21年度の介護報酬改訂についてもお話を頂きました。

介護給付適正化計画により、認定調査状況チェック、ケアプランの点検、住宅改修等の点検、医療保険との突合、介護給付通知を実施することとなります。

平成20年7月に厚生労働省より「ケアプランの点検支援マニュアル」が公表されました。今回「ケアプランの点検支援マニュアル」に基づいて点検ポイントを学ぶ事が出来ました。

ケアプラン点検の対象となる帳票は、居宅サービス計画書第1、2、3表とアセスメント表であり、意向・ニーズ・サービスの連動性、情報収集、説明と合意、ケアチーム、連携、家族の参加、根拠、整



合性、自立支援、社会資源が記載されているかが点検のポイントになるなど、ケアプランの点検を中心に、居宅サービス計画書第1表と3表の作成のポイントについて、具体的な説明をして頂きました。

秋林氏より説明のあった点検のポイントを踏まえた上で「ケアプランの点検支援マニュアル」を確認し今後のケアプラン作成、ケアプラン見直しを行うっていく必要があることを再認識いたしました。

岩槻区・見沼区合同ケアマネサロン

「ケアマネジャーと薬の管理」

開催日 平成21年2月13日（金）
開催場所 岩槻駅東口コミュニティセンター

薬を反対に読むとリスクな用法通りお薬が飲めないのでしょうか。

「薬局との連携を理解する ケアマネジャーと利用者の視点から」と題してウエルシア関東 薬剤師 浅見千嘉代氏を講師にお招きし岩槻区・見沼区合同のサロン会を開催しました。

薬は正しく使って効果の出るものです。きちんと服用できていない原因として、「薬を飲む意味を理解していない」「疾患のためきちんと服用できない」「服用剤数が多く服用方法も色々あるため」等があります。まずは、その原因を把握することが大切です。

特に高齢者の場合、身体機能の低下や薬を分解したり排泄したりする機能の低下、また様々な薬を服用していることも多く、副作用・相互作用が起きやすくなっています。

どうしたらきちんと服薬できるのでしようか？

お薬手帳・お薬カレンダー・居宅療養管理指導・外来服薬支援の活用、また主治医に相談し、剤数を減らしたり剤形の変更や服薬方法の検討することなども効果的な方法です。

実際に介護の現場では、どうでしょうか？



居宅療養管理指導ではケアプランと直接関係がなく介護保険の限度額に入っていないため、薬剤師が入っている事を知らなかったという声も聞かれます。状況を把握するためにも薬剤師から報告をもらうようにするとよいでしょう。

薬局との連携にあたりご利用者のかかりつけ薬局を把握し、また活用できる様々な制度がありますので、なんでも相談できる薬局を見つけておくことをお勧めします。

研修終了後、懇親会が行われ、仕事や私的なことなど情報交換することができ大変有意義な宴となりました。

第2回 南区ケアマネサロン

「認知症対応型通所介護家族の会参加と通所介護について勉強会」

開催日 平成21年2月8日

開催場所 きらめいと武蔵浦和認知症通所介護
参加者 9名

2月8日(日)にきらめいと武蔵浦和認知症通所介護で家族の会があり、参加させていただきました。家族の方の参加は20名くらいで介護者の方の年齢層も40歳台から70歳台までさまざまでした。参加されていた方々も和やかなながらも積極的に介護についての話し合いを行っていました。家族にとつて、認知症は介護負担があり、同じことの繰り返し、排泄介助の拒否、暴言やねぎらいの言葉が無いなどで疲労があり介護の終わりの無い不安がうかがえました。また、息子様、娘様は自分の配偶者に親の面倒をみていることへの申し訳ない気持ちでつい親をきつく叱ってしまったり、言葉がきつくなったり、自己嫌悪の状態になっているという涙ながらの報告もありました。

通所スタッフからは、サービ
ス開始時は、皆様概ね通所拒否があるが3ヶ月頑張れば

なんとか馴染んで施設でも落ち着いて過ごすことができる。あまり認知症が進行してしまつてからでは(認知レベルⅢ以上になってからでは)通所に馴染むことが難しいので、できれば早期の段階でのサービス導入が望ましいとの助言がありました。

認知症は今後も増加の傾向にあり、本人様ご家族様の負担が増える状況にあります。認知症が大変になつたらすぐ施設に入れるから在宅サービ
スは利用しないと話すご家族もいますが、施設はすぐには入所できない現状です。私たちケアマネジャーも在宅介護の長期化をよく家族様に説明し、共倒れ、虐待が起らないようにサービスを利用しながら地域での生活が継続していけるように、プラン作成を行うことが大切だと再確認いたしました。

北区・西区合同ケアマネサロン

「ベッド周りの安全安心勉強会」

開催日 平成20年12月11日(木)

開催場所 老人保健施設ケア大官花の丘

北区・西区合同のケアマネサロンは「ベッド周りの安全安心勉強会」と題してパラマウントベッド様のご協力により13名の参加で行われた。前半は居室の就寝場所の周辺の危険について。一般的に転倒転落の原因となる行動は何かという1位：排泄行為、2位：不穏行為、3位：移乗、4位：物を取る行為：と、住環境と日常生活に深く関わる行動、特に排泄行為のように自発的自力的に意欲があることを尊重すべき大切な行動の多いことがわかつている。それらの危険に対応するための福祉用具を利用すると、用具自体の持つ特性から起こる問題が新たにでてくる。例えば、特殊ベッドを利用し始めたところ、サイドレールの隙間に挟まれるの怪我や、床への転落時の高低差による怪我、マットレスと柵の寸法がメーカーにより異なる為にうっかり別の製品を流用して隙間に落ち込んだり。そのために新たに転落時の衝撃緩和マットや足下灯などが考案されているが、このように、環境の安全確保のための製品について基準の統一についてJISマーク適用の動きが国の指導で進んでおり、21年には実施の見込みである。後半はベッドの専門家による床ずれについてのお話があり、特に「ギャッチアップ褥瘡」が、ベッド上での背上げ時に衣類がよじれたりすることから発症することの説明にはなるほどと思つた。動く際の摩擦やずれが人の皮膚には大きな影響があるとのこと。

最後に、介護する側にとつて、ベッド上の



中央区・桜区ケアマネサロン

「もつと知りたい地域のデイサービス」

開催日 平成21年2月21日(土) 参加者 25名

開催場所 株式会社レオパレス あずみ苑 五閑

今年度2回目のケアマネサロンは、区内の通所介護事業者の皆様に参加を呼びかけてケアマネジャーとの顔合わせ、互いの事業所紹介・特徴、スムーズな連携方法、日頃困っている事や悩み事の話し合いを行いました。

各デイサービスの特徴として、パワーリハビリの導入、柔道整復師によるマッサージや鍼灸の実施。炭酸足浴やアロママッサージ、足裏マッサージ等と、身体機能の維持や向上を積極的に取り入れている事。精神的なケアに音楽療法の取り組みや少人数対応でその方らしさに合わせた自宅と同じ様に過ごせる環境で対応してくれる場所、楽しいをモットーにしている施設と様々でした。どうしても聞きたい質問として、

① 送迎の時、自宅内へ立ち入り、移乗・移動の介助をしてくれるの：ケースバイケースが5社、ドア

ツードアが4社。(規則には記載されていない)

② タバコを吸う方の対応は：喫煙所がある。本数を制限したり、屋外での喫煙を認めている、禁煙としている。等で色々。

③ 帰宅願望が強い方の対応に：気を紛らわしながら声かけを工夫し、杖を振りかざして窓を割りそうになるまで付き合っ、レクリエーションの参加を促していく。

④ 食事内容の対応は：刻み食までは1社で、殆どペースト・ミキサー食が可能である。

もつと知りたい聞きたい事に時間を忘れ、その後、施設内を見学をさせて頂き、地域で生きた情報を気軽に意見交換できる「スキルアップ」と「癒し」の場を目指したケアマネサロンとして有意義な時間を過ごす事ができました。

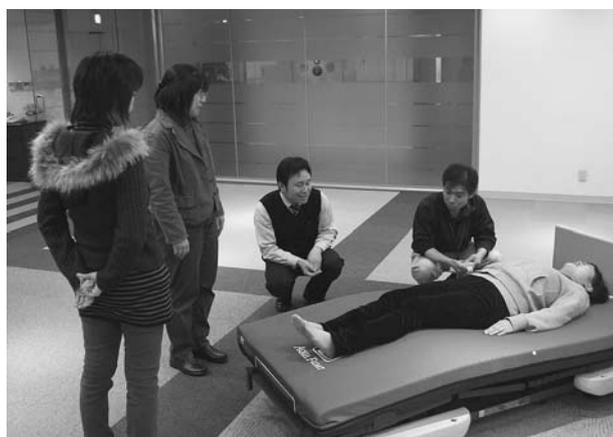
第2回大宮区ケアマネサロン

「ベッドとマットレスによる床ずれケア環境のご提案」

開催日 平成21年1月28日(水)

開催場所 パラマウントベッド株式会社 埼玉支店

平成20年度、第2回目の大宮区ケアマネサロンは、パラマウントベッド株式会社様の御協力により、高齢者ケアにおける床ずれ・床ずれ予防について、発生要因から発生のメカニズム、更には長期間の臥床による身体への弊害等を、映像やデータを用い、改めて詳しく勉強させていただきました。内容は、ベッドの背上げに伴う体のズレや、圧迫の軽減を目的とした「らくらくモーション」の効果と、結果利用者自身の床ずれ防止に加え、毎日の介護生活において、介助者の負担軽減でもあるとのお話を、パラマウントベッド社の方がユーモア溢れる講義をしてくださいました。更に新製品の薄さと体圧分散性能を両立したマットレスの寝心地を、全参加者が体験することが出来ました。その後、参加会員による情報交換・歓談の時間が設けられました。



平成21年度通常総会及び全体研修(講演)の開催について(ご案内)

日時 平成21年5月23日(土) 開場 13時15分

場所 埼玉教育会館2階会議室 さいたま市浦和区高砂3-12-24

TEL 048-832-2551

内容 1 通常総会(13時45分~14時45分)
平成20年度事業報告・収支決算報告
平成21年度役員選出
平成21年度事業計画・収支予算(案)

2 全体研修(15時~16時50分)
講師 川田 憲治 氏
(株)埼玉りそな銀行代表取締役社長
演題 「経済雑感」
~経済変動の中における経営改革と志~

施設介護支援専門員研修の報告

「平成20年度第3回介護支援専門員研修会」

日時… 12月13日(土) 13時30分～16時00分
場所… 埼玉精神神経センター(中央区)
テーマ… 効果的なカンファレンスの開催について

今回の研修は、さいたま市認知症介護指導者の宮坂寿子氏を講師に迎え「効果的なカンファレンスの開催について」をテーマに、施設従事者であれば非会員でも参加可能なオープン形式で開催した。

1時間強の講義でカンファレンスの約束事や進め方などの基本、ファシリテーターとしての役割を学習した。休憩を挟んでのグループワークでは、介護主任・介護職・観察者を配置してロールプレイを実践。事例を通じたカンファレンスを二度に渡り運営した。初回は自由に、二回目は会議をより良くするための約束事「グランドルール」を設定した上、役割を交代して運営し、その違いを体験した。メンバーとして意見が言えたか、自分と違う考え方をするひとはどのような思考をするのか、などを確認した。

最後は「カンファレンスの達人への道」を目指し、意見交換をすまとめとした。

アンケートからは、「施設内だけでカンファレンスをしているとひとつの方向のみに流れがち。皆さんの意見を聞くことができてよかった」「すすめ方には○×がある。自分の施設でもグランドルールを明確にしたい」「(グランドルールは)ミーティングや委員会などでも使えるテクニックだと思う」などの意見が聞かれた。

今回も入会者が2名あり、また、数名の方が研修の企画・運営に興味をもたれ、仲間を増やす機会となる有意義な研修会であった。

施設介護支援専門員研修の報告

「平成20年度第4回施設介護支援専門員研修会」

日時… 3月28日(土) 13時30分～17時00分
場所… 尚和園アンシャンテ(緑区)
テーマ… ICFの視点を活かしてケアプランを作ろう

昨年度もお招きした、神奈川県立保健福祉大学の峯尾武巳先生を講師に、標記のテーマで研修会を開催した。施設従事者であれば非会員でも参加可能なオープン形式として実施。30名の参加があった。

① ICFの理解を深める、② ケアプラン作成にICFの視点を活かすように努める、③ 「チームメンバーへの伝達方法を理解して協力関係について理解する」を研修目的として、講義、ビデオ学習、グループワークを通じて学習した。

方法論としてICFを活用すること。ICFは生活障害がどこから生じているかを整理するためのツールである。本人の望む生活はICFからは出てこない。このような認識のもとで活用してほしい。生活というより「暮らし」、という先生のお言葉が印象的であった。

アンケートからは、「さつそく明日からの仕事に活かしていきたい」「その人の障害発生前の生活に目を向ける事を考えさせられた」「もう少し詳しくICFを学びたい」などの意見が聞かれた。中には「初めてICFとはどういうものなのか知った」「知識としては持っていたが(きちんと)学んだことはなかった」というものもあった。「働くことの目的を見失っていたことに気づき、(職場の)理念を再確認してみた」「他職種や他の職員(個性的な)と協調しあうのが難しいけどやらなければ。それが私の仕事」などの気づきを伺うこともできた。

ICFの講義を通じ、働くことの意義を再確認させていただいた。「福祉職として働きたいと思った当初の理念に立ち返ろう」と。

最後に、研修会終了後3名の入会者があった。また、研修担当として運営に興味をもたれた方も複数名あり、施設介護支援専門員研修が徐々に定着しつつあることを実感した。



どっちが「弟」なのだ!?

浦和しぶや苑 松本 幸司

台風が1度も上陸しなかった年の冬には大雪が降るといふ噂を信じこんで、大枚はたいて車のタイヤをスタッドレスに替えた。いつでも降ってこーいと空を見上げれば、2月なのに暖かな日差しの太陽・・・温暖化のバカー! タイヤ代返せ〜!! と怒りの矛先を環境問題に向けていたある日のこと。

ガキンチョ一人でも、もてあましていた我が家にガキンチョが一人追加となった。下馬評では女の子説がまことしやかに囁かれ、名前も女の子向けのモノしか考えていなかったが・・・生まれてきてみりゃ立派な「弟」
なにはともあれ、「弟」が出来たんだから、ガキンチョ1号は立派に「お兄ちゃん」になるにちがいないと思っていたら・・・甘かった!

「兄」は赤ちゃん返り一直線! 「弟」のオムツ交換

の姿をみて、「トイレ一部介助」まで、もう一步だったのに「要介護」に逆戻り、トイレに行こうとせずに床で股を広げてオムツ交換を待っている。洗面台で沐浴していたら、自分も入ると大騒ぎ、根負けして入れてみればはしゃぎまくって水浸し。とっくに卒業したハズのベビーカーを占領・・・などなど

高齢者でもガキンチョでも、「自立」ってのは「本人の気持ち」次第なんだなあ・・・と、ため息を一つ・・・いや二つ・・・三つ・・・

お兄ちゃん! いつの日か「お兄ちゃん、弟の世話をエライね〜!」と言える日が来ることを信じていますよ〜!!

※親の介護負担軽減のためにも、どうかお願いいたしやす☆

編集後記

役員の皆さん、会員の皆さん、1年間お疲れさまでした。

平成21年度も引き続きよろしく願いいたします!

平成21年度も「(社) やどかりの里 やどかり情報館(精神障害者福祉工場)」

さんに広報誌出版をお願いしたいと思っています!

今後ともよろしく願いいたします。

広報委員

事務局より

会員の住所・事業所等登録事項に変更があった場合や入会・退会希望の場合は事務局までご連絡ください。

さいたま市介護支援専門員協会 事務局 野崎・西間木

(財)さいたま市在宅ケアサービス公社内

電話番号 048-645-7470

FAX 048-645-7500

リニューアルしたので見てくださ〜い!!

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>